

厚岸町海事記念館通信

発行 厚岸町海事記念館

〒088-1151 厚岸町真栄3丁目4番地

TEL & FAX 0153-52-4040

edu.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji

No.54

2017年12月発行

厚岸町海事記念館こどもクラブ

だより

8月は別寒辺牛川でカヌー体験を実施しました。空は晴れ渡り、風も穏やかという絶好のカヌー日和の中、川底を網ですくうと沢山のスジエビやトンギョを獲ることができました。川だけど、海の魚のカレイが獲れたのにはみんなビックリ！

9月はほしぞら教室を予定していましたが、悪天候によりできなくなってしまいました。

しかし、どうしても諦めきれずに10月に再挑戦！ 無事に開催することができました。普段私たちが何気なく眺めている星も、望遠鏡で見るとキレイに光って見えましたね。



カヌー体験



ほしぞら教室

夜間のプラネタリウム『夏の天文観察会』

8月30日に、海事記念館前で天体望遠鏡を使った天文観察会を実施……する予定でしたが、残念ながら曇り空となったため夏のプラネタリウム番組を投映しました。それでも参加していただいた方々は、今シーズン最後の夏番組をいつもと違う夜間に観賞し楽しんでいました。



文化財を活かした地域づくり『文化財歴史講演会』

9月23日に情報館で、釧路短期大学教授佐藤宥紹氏を講師に文化財歴史講演会を開催しました。今回は「創造力と想像性～育てる国史跡・重要文化財～」と題し、地域に眠る文化財をどのようにして町の賑わいとして活用していくかをテーマとして、広島県広島市の観光ツアーを例に挙げ、町内の史跡や重要文化財を単体として見るのではなく、それらを結ぶ魅力ある物語を作っていくことが観光資源として活用することに繋がると解説していただきました。最後に、地域資源に対し新たな価値や維持管理をする上での投資といった「創造力」の視点、そして、それぞれの文化財を関連付けし結びつけていく物語づくりといった「想像性」の視点が地域づくりには必要であると助言をいただきました。



満天の星空が見れた『ほしぞら教室』

10月25日に太田小学校のグラウンドで秋のほしぞら教室を開催しました。中止になってしまった9月の時とは打って変わって雲一つ無い夜空のもと、はくちょう座の二重星(アルビレオ)や織姫星のベガ、彦星のアルタイルといった天体を観測しました。移動天文車「カシオペヤ号」や小型望遠鏡で見る宇宙にはいつもと違う輝きがあり、参加した子どもたちだけでなく保護者の方々も感動していました。

なお、9月の時点で定員を超える申込があったため、再募集を行いませんでした。ご了承ください。



自作のまが玉を作成『まが玉づくり教室』

海事記念館では、11月3日の文化の日にちなんで、郷土の歴史や遺跡に興味を持ってもらうため、古代人の装飾具である「まが玉」をみんなで作りました。滑石と言われる柔らかい石をサンドペーパーを使って削り、形を整えたあと、磨き粉を付けた布でツヤを出して完成です。文字にすると簡単ですが、サンドペーパーで削るのは非常に根気がいる作業でした。参加していた子どもだけでなくお母さん方も必死に削っていました。皆さん、自分だけの「まが玉」を作ることができて喜んでいました。



～海事記念館事業のお知らせ～

☆星の輝きを見てみよう『冬の天文観察会』☆

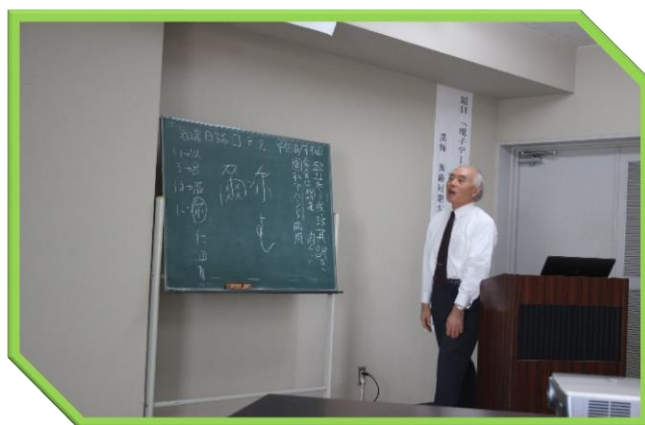
12月14日（木）夜7時より、冬の天文観察会を実施します。秋から冬にかけて見ることのできる星々を天体望遠鏡で見てくださいませんか？ 申込・お問い合わせは、海事記念館までご連絡ください。

日	時	12月14日（木） 午後7時～午後8時
場	所	海事記念館
申込締切り		12月12日（火）
申 込 先		海事記念館 TEL 0153-52-4040
備	考	夜間の実施ですので、防寒対策をしてください。



松浦武四郎の古文書資料を読む『古文書教室』

10月28日に海事記念館で、釧路短期大学教授佐藤宥紹氏を講師に古文書教室を開催しました。今回は「電子データ公開資料で読める「松浦武四郎」～『知床日誌』（抄）～」と題し、北海道の名付け親であり、江戸時代に厚岸を訪れたことのある松浦武四郎の日誌『知床日誌』を教材に、古文書の解読方法やその時代の歴史背景について詳しく解説していただきました。解読した文章からは、道東地方におけるアイヌ民族の生活状況や、それを目の当たりにした松浦のアイヌ民族に対する心情や人柄が読み取れ、参加者の興味・関心を大いに引き付けていました。また、今回活用した『知床日誌』は早稲田大学図書館のホームページに電子データで公開されています。興味がありましたら検索してみてくださいはいかがでしょうか。



☆ 海事記念館のプラネタリウム ☆

海事記念館では、現在冬のプログラムを投映しています。冬の夜空は一等星が7つも輝いており、四季の中でもっとも豪華と言っていいでしょう。プラネタリウムの観賞は高校生以下は無料、大人は入館料のみでご覧いただけます。多数のご来場、お待ちしております。



開始時間 平日 15:30
土日祝日 11:00 13:30 15:30

☆ 家に古い道具や写真などはありませんか？ ☆

海事記念館では、今では使われなくなった古い道具や写真といった、町の歴史がわかる資料の収集・調査を行っています。皆様のご自宅にそういった資料がありましたらぜひ海事記念館までご連絡ください。



■本紙掲載の事業・記事についての問い合わせは、
海事記念館(Tel/Fax0153-52-4040) までお願いいたします。